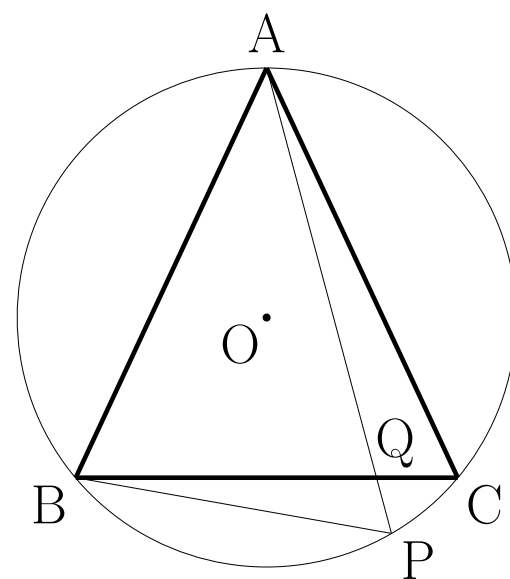


# 相似 相似の応用

$AB = AC$ である二等辺三角形  $ABC$  が円  $O$  に内接している。円周上の、点  $A$ 、 $B$ 、 $C$  とは異なる位置に点  $P$  をとり、点  $A$  と点  $P$ 、点  $B$  と点  $P$  を直線で結ぶ。直線  $AP$  と直線  $BC$  の交点を  $Q$  とする。次の各問いに答えなさい。

(1) 図 1 のように、点  $P$  を、点  $Q$  が辺  $BC$  上の点となるようにとる。

図 1



①  $\triangle ABP \sim \triangle AQB$  を証明しなさい。

②  $AB = 10\text{cm}$ 、 $AQ:QP = 9:1$  のとき、線分  $AQ$  の長さを求めなさい。

# 相似 相似の応用 解答

---

(1) ①

$\triangle ABP$  と  $\triangle AQB$  において

仮定より

$$\angle ABQ = \angle ACB \cdots \textcircled{1}$$

$\widehat{AB}$  に対する円周角は等しいから

$$\angle ACB = \angle APB \cdots \textcircled{2}$$

①、②より

$$\angle APB = \angle ABQ \cdots \textcircled{3}$$

また、共通だから

$$\angle BAP = \angle QAB \cdots \textcircled{4}$$

③、④より 2 組の角がそれぞれ等しいから

$\triangle ABP \sim \triangle AQB$

②  $3\sqrt{10}\text{cm}$

# 相似 相似の応用

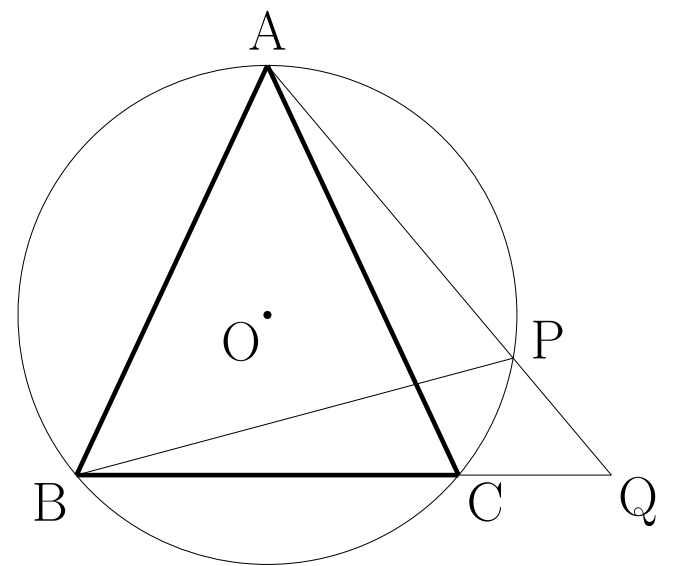
(2) 図2のように、点Pを、点Qが辺BCを延長した直線上の点となるようにとる。

① 点Pを、点Bを含まない $\widehat{AC}$ 上の点A、Cとは異なるどの位置にとっても成り立つ関係を表す式を、次のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

$$\left( \begin{array}{l} \text{ア} \quad AP \times AQ = AB \times BP \\ \text{イ} \quad AP \times BQ = AQ \times BP \\ \text{ウ} \quad AB^2 = AQ \times BC \\ \text{エ} \quad AB^2 = AQ \times AP \end{array} \right)$$

②  $\angle BAC$ を鋭角とする。 $\angle BAP = 90^\circ$ 、 $AB = 3\text{cm}$ 、 $AQ = 9\text{cm}$ のとき、円Oの直径を求めなさい。

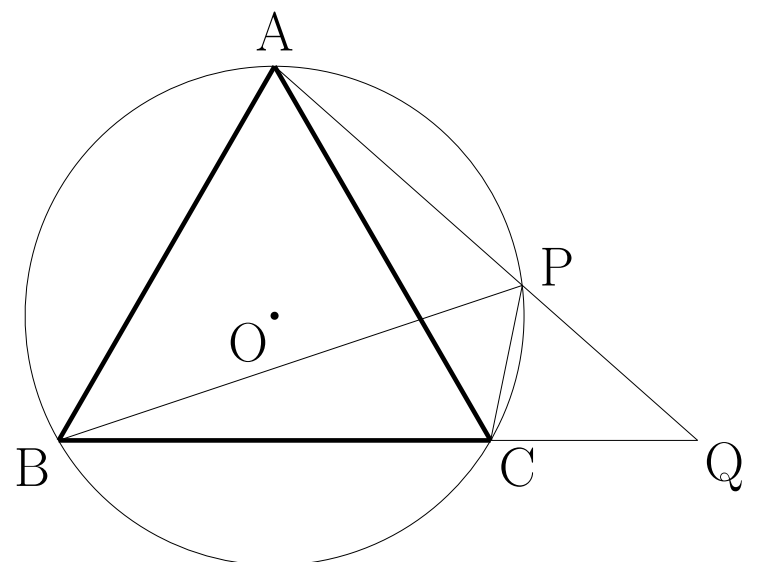
図2



(3)  $\angle BAC = 60^\circ$ とする。図3のように、点PとCを直線で結んだ時、 $PB = 6\text{cm}$ 、 $PC = 2\text{cm}$ 、 $PQ = 3\text{cm}$ である。線分BQの長さを求めなさい。

(長野)

図3



# 相似 相似の応用 解答

---

(2) ① エ

②  $\sqrt{10}\text{cm}$

(3)  $3\sqrt{7}\text{cm}$

## ● ポイントの確認

ヒロ：単に三角形の相似を証明するだけでなく、その性質を上手く利用できない

かどうか考えてみよう。